



KSR110用 アルミスイングアーム (3cmロング)

取扱説明書

商品番号 : 06-03-0903
適応車種 : KAWASAKI KSR110
フレーム番号: KL110A-000001~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

～ 特 徴 ～

KSR110 専用開発した、STD比3cmロングのアルミスイングアームです。
アクスルホルダーは削り出しで、YAMAHA OW-01タイプを採用。
スイングアームのチェーンライン部上下をカバーする専用チェーンスライダを付属。
専用アクスルシャフトとチェーンアジャスターを使用する事で、アクスルシャフトの回り止め補助をしなくてもトルクがけが出来る様になっています。
レースレギュレーションに対応出来る様に、チェーンガード取り付けステーを備えています。
(別売りのホンダ純正品番 52156-GAN-670 を取り付けの事が出来ます。)

ご使用前に必ずお読み下さい

当商品は、純正スイングアームより3cmロングの設計となっております。それに伴い、純正のドライブチェーン及びリヤブレーキホースが届かなくなりしますので、別途ご用意の上、取り付け作業を行って下さい。
また、当社製ブレーキホース部品を用いた場合の、参考取り回しを本取扱説明書末尾に記載しています。
取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
当製品の取り付けには、上記適応車種に合致したカワサキ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行う事をお勧めします。
取り付けの際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技術や知識を持った方を対象としております。取り付け等経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
補修部品に付きましては商品番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

注意 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
(部品の脱落の原因となります。)

警告 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。
この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

~ 商 品 内 容 ~



番号	商品内容	数量	リペア品番	入数
1	スイングアーム A s s y .	1		
	チェーンスライダー	1	5 2 1 7 0 - G E Y - T 0 0	1
2	チェーンアジャスター, L	1	4 4 3 0 2 - G E Y - T 0 0	1
3	チェーンアジャスター, R	1	4 4 3 0 2 - G E Y - T 1 0	1
4	アクスルシャフト	1	4 4 3 0 1 - G E Y - T 0 1	1
5	六角ボルト 6 x 4 5	2	BW 0 0 0 0 7 2	2
6	フランジナット M 6	2	BW 0 2 0 0 1 4	4
7	フランジボルト M 1 0 x 6 0	1	BW 0 0 0 0 7 3	1
8	ワッシャ 1 2 mm	1	BW 0 1 0 0 3 3	4
9	フランジUナット 1 2 mm	1	BW 0 2 0 0 1 5	1

補修パーツはリペア品番にてご発注下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品にてご注文下さいませお願い致します。

~ 取 り 付 け 要 領 ~

作業の前に

1. 水平で安全な場所で、作業に十分なスペースを確保します。
2. シート、シートカバー、リヤショックアブソーバカバーを取り外します。

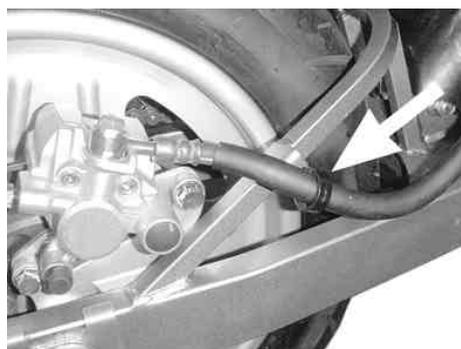


3. リヤアクスルナット・スイングアームピボットナット・リヤショックナットの下端を緩めておきます。
4. ホイストやリジッドラック等を用いて、車両を確実に支え、車両を安定させます。

⚠ 警告：作業中に車両が倒れると、重大な事故に繋がる恐れがあります。確実に支えられている事を確認してから、作業を行って下さい。

純正スイングアームの取り外し

1. リヤブレーキホースをスイングアームに止めているプラスチッククリップを、スイングアームから外しておきます。



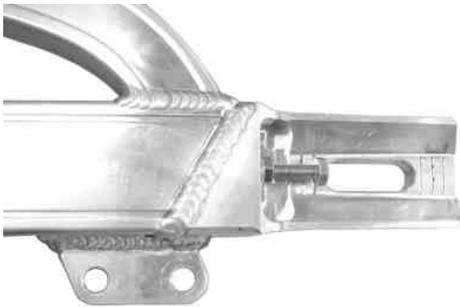
2. ドライブチェーンとリヤアクスルナットを取り外し、リヤホイールを取り外します。
3. リヤショックアブソーバ下端と、スイングアームを固定しているスクリューを外します。
4. ピボットシャフトナットを外し、ピボットシャフトを抜き取ります。
5. スイングアームを車両から取り外します。

アルミスイングアームの取り付け準備

1. 外した純正スイングアームのピボット部分から、ピボットカラーを抜き取ります。

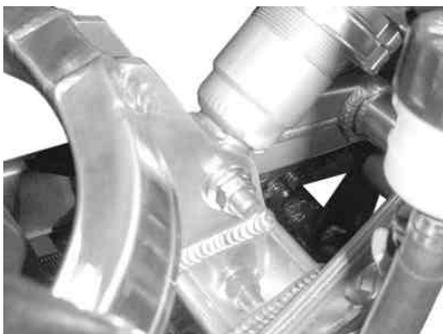


2. ピボットカラーに、傷や錆び等の異常が無いかを点検し、問題なければピボットカラーにグリスを塗布し、スイングアーム Assy. のピボット部に差し込みます。
3. 六角ボルト 6 x 4 5 に フランジナット M 6 を通し、スイングアーム Assy. の左右アクスルホルダー部に取り付けておきます。



アルミスイングアームの取り付け

1. 組み立てたアルミスイングアームを車両に取り付け、ピボットシャフトを車両左側から差し込み、ピボットシャフトナットを仮付けします。
2. リヤショックアブソーバー下端を固定するスクリューを、キット付属の フランジボルト M 1 0 x 6 0 に交換し、純正のナットで仮付けします。

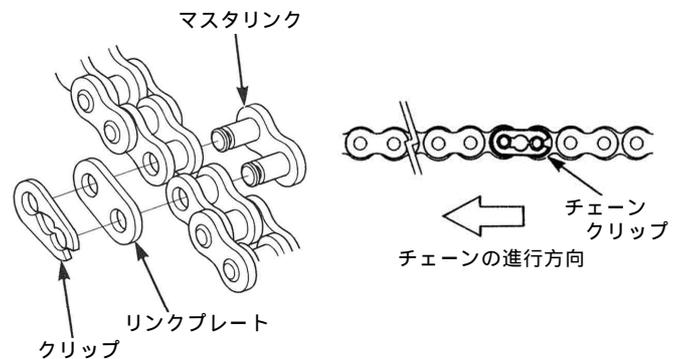


3. リヤホイールとリアブレーキキャリパーを、スイングアーム間にセットします。

4. アクスルシャフトに、チェーンアジャスター ,R を通し、アクスルシャフト頭部をチェーンアジャスター ,R の溝部分に合わせて、スイングアーム右側から通し、チェーンアジャスター ,L、ワッシャ 1 2 mm、フランジリナット 1 2 mm の順で取り付け、仮締めしておきます。
この時ブレーキホースが届かない場合は、純正より長い物に交換して下さい。(P 4 参照)



5. リンク数の多いドライブチェーンを取り付けます。



⚠ 警告：ドライブチェーンのクリップ止め方向を守る事。

クリップの合口をチェーンの進行方向の反対に向けて取り付けます。クリップを逆に付けると突発的にマスターリンクが外れることがあります。

6. メンテナンススタンド等を用いて車体を安定させ、ピボットシャフトナット・リアショックアブソーバー取り付けナットを規定トルクで締め付けます。

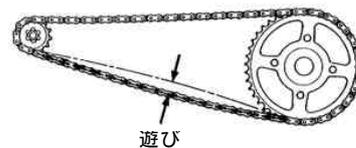
締め付けトルク

：ピボットシャフトナット 7 8 N ・ m (8 . 0 k g f ・ m)

：リアショックアブソーバー取り付けナット

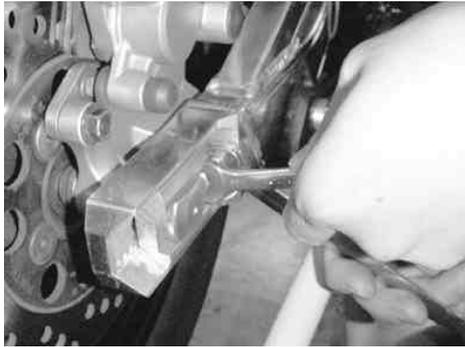
5 9 N ・ m (6 . 0 k g f ・ m)

7. アクスルホルダー部に取り付けた 六角ボルト 6 x 4 5 を回して、ドライブチェーンの遊びを調整します。
この時、左右のチェーンアジャスターの合わせマークを左右同じ目盛りの位置にして下さい。



8. 六角ボルト 6 × 4.5 を保持し、フランジナット M6 を締め付けロックします。

締め付けトルク：1.2 N・m (1.2 kgf・m)



9. リヤアクスルシャフトのフランジナット 12 mm を規定トルクで締め付けます。

締め付けトルク：6.4 N・m (6.5 kgf・m)

最終確認

1. 各部ナット類が確実に規定トルクで締まっているかを確認します。
2. スイングアームをストロークさせ、タイヤがドライブチェーンやブレーキホースと干渉しないかを確認します。
3. リヤブレーキホースを交換した場合は、必ずエア抜きを実施し、正しく制動する事を確認して下さい。
4. 取り付け作業前に取り外した外装類を元通り組み付けます。
5. スイングアームに付着した汚れを拭き取ります。

リヤブレーキホースについて

1. 本商品用のリヤブレーキホースキットの設定はありませんが、ブレーキ関係の部品及びリヤホイールハブが純正の場合、当社製の下記部品を使用する事が出来ます。

06-080-0002

ステンレスメッシュホース 420 mm × 1

09-071-008

バンジョー 25° × 2

09-071-010

バンジョーボルト M10 × 1.25 × 2

09-071-015

シーリングワッシャ (10個セット) × 1

09-071-044

タイラップ × 1

2. 参考取り回し例



タイヤとブレーキホースが干渉する事の無い様、適宜タイラップ等で固定します。

3. 締め付けトルク

バンジョーボルト 1.3 ~ 1.5 N・m (1.3 ~ 1.5 kgf・m)

フィッティング 5 ~ 6 N・m (0.5 ~ 0.6 kgf・m)

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059
URL <http://www.takegawa.co.jp>